

2021 年度「感染管理認定看護師のためのキャリア ディベロップメント講座」講義概要

◎前期

第1日 2021年10月30日(土)

第1時限 (13:35~16:35)

『サーベイランス①(実践)』

講師： CLABSI 東京慈恵会医科大学附属病院 美島路恵
VAP/VAE 北里大学病院 佐々木顕子

講義概要：

医療関連感染サーベイランスは、感染発生とその状況を把握し、迅速に対策へと結びつける重要な活動です。本講座では、中心ラインと人工呼吸器の二つの医療器具関連サーベイランスを取りあげ、2名の講師からサーベイランス実践を講演していただきます。またディスカッションの時間を設けて、サーベイランス実践に関する学びをさらに深めていきます。

第2時限 (16:50~18:15)

『感染症学』

講師： 防衛医科大学校 川名明彦

講義概要：川名先生からのメッセージ

「感染症学」という演題をいただきました。これは、講師が今特に興味を持っていて皆さんに知っておいていただきたい内容をお話する枠と伺いました。COVID-19については他の講師の先生がお話されるので、私は最近の新興感染症を振り返り、日本の取り組み等をおさらいしたいと思います。SARS、MERS と重症肺炎を起こす新型コロナウイルス感染症が2つ続いて、3つめのCOVID-19が予測できなかったのは残念でした。

第2日 2021年10月31日(日)

第1時限 (9:00~10:25)

『薬剤耐性菌』

講師： 国立感染症研究所 鈴木里和

講義概要：鈴木先生からのメッセージ

多種多様な薬剤耐性菌をどう整理して理解したらいいのかお困りではないでしょうか？
①抗菌薬の分類の仕方、②薬剤耐性菌がなぜ広まるのか、③どういう薬剤耐性菌が問題となるのか、についてその考え方の基本を解説いたします。これらの基本的な考え方を踏まえて、自施設に見合った薬剤耐性菌対策を考えていただければと思います。

第2時限 (10:40~12:05)

『コミュニケーション技術』(人を動かすコミュニケーション技術)

講師：東京工芸大学 大島武

講義概要：大島先生からのメッセージ

コミュニケーション技術について、特に「スタッフをその気にさせ、成長を促す」ことを念頭においてお話しします。わかりやすく伝え、相手の話も真摯に聴く、こうしたコミュニケーションの基本に加え、人の心を動かすには想像力や粘り強いトライ&エラーの積み重ねが必要です。職場にいる(いないかもしれませんが)ちょっと「困ったちゃん」なあの人の顔を浮かべながら、一緒に解決策を考えましょう。

第3時限 (12:55~14:20)

『COVID-19(2021年10月の最新動向)』

講師：国立国際医療研究センター 大曲貴夫

講義概要：大曲先生からのメッセージ

「COVID-19は医療のあり方を根本的なところから変えてしまおうとしています。この新たな感染症に対する臨床的な知見はかなり揃い、治療も確立してきました。COVID-19のこれまでを振り返りつつ、今後の対応について私見を述べ、皆様と一緒に考えたいと思います。」

第4時限 (14:35~18:15)

『COVID-19の感染対策』

講師：聖路加国際病院 坂本史衣

講義概要：坂本先生からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生から1年半が過ぎました。流行初期には手探りだった感染対策も、全世界から発信された知見の蓄積や、効果の高いワクチンの開発により、各医療現場で徐々に整備されていると思います。この講義では2021年10月時点の状況や情報をもとに医療現場での実践が勧められるCOVID-19の感染対策をご紹介します。

◎後期

第1日 2022年2月11日(金・祝)

第1時限 (13:35~15:00)

『ウイルス性肝炎/HIV』

講師：東京大学医科学研究所 四柳宏

講義概要：四柳先生からのメッセージ

針刺しなどの血液・体液への曝露が医療現場では問題になります。こうした職業感染対策としてHBV、HCV、HIVなどのウイルス感染症は特に重要です。感染・発症後にウイルスを完全に排除するのが難しいからです。今回はこの3つのウイルスを中心に現場での感染対策に必要なことをお話できればと思います。

第2時限 (15:15~16:40)

『ICNに必要な臨床微生物～検査における最新の話題』

講師：国際医療福祉大学 長沢光章

講義概要：長沢先生からのメッセージ

感染制御に必要な臨床微生物の知識として、特に重要な微生物や薬剤耐性菌の検査法など最新の話題を提供したい。また、COVID-19の感染状況により新型コロナウイルスに関する臨床検査として、遺伝子(PCR)検査、抗原検査、抗体検査などの最新の状況、適応および検査結果の解釈についても触れていきたい。

第3時限 (16:55~18:20)

『COVID-19(2022年2月の最新動向)』

講師：大阪大学大学院 忽那賢志

講義概要：忽那先生からのメッセージ

新型コロナウイルスはヒト-ヒト感染を起こす7つ目のコロナウイルスであり、2021年5月現在は感染性増加や免疫逃避に関連する変異を獲得した変異ウイルスが世界的に問題となっている。感染者の約3~4割は無症候性感染者とされるが、発症者の潜伏期は約5日でありインフルエンザ様症状を呈する。嗅覚障害・味覚障害は新型コロナウイルス感染症に特異度の高い症状である。発症者の約2割が発症から7~10日目に重症化するのが典型的な経過である。高齢者や基礎疾患を持つ患者、肥満などがリスクファクターである。急性期を脱して回復した後も症状が遷延するLONG COVIDと呼ばれる、いわゆる後遺症の病態が注目されている。

第2日 2022年2月12日(土)

第1時限 (9:00~12:00)

『サーベイランス②(疫学・統計学)』

講師：大阪大学大学院 内海桃絵

講義概要：内海先生からのメッセージ

せっかく集めたサーベイランスデータがフィードバックに活用されずに眠っているようなことはありませんか。疫学研究におけるデータ収集と統計手法を解説し、伝わるデータにまとめる方法をご紹介します。また、感染管理分野でよく使われる多変量解析の結果の見方もお伝えします。

第2時限 (12:50~14:15)

『抗菌薬の適正使用』

講師：都立多摩総合医療センター 本田仁

講義概要：本田先生からのメッセージ

抗菌薬適正使用が謳われて5-6年程度たちますが、それがもたらす影響の評価が必要な段階です。数多くの論文がだされており、様々な評価がされています。今回のレクチャーでは抗菌薬適正使用のエビデンス、影響の評価、抗菌薬適正使用とコロナウイルス感染症のパンデミックの関係について理解をふかめていただければと思います。

第3時限 (14:25~15:50)

『感染制御をめぐる内外の最新トピックス』

講師：山形大学医学部附属病院 森兼啓太

講義概要：森兼先生からのメッセージ

2020年に続き、2021年もCOVID-19に明け暮れた感が強いですが、この感染症は感染経路などの基本的概念を覆すような大きなインパクトを与えたので、それもやむを得ないかもしれません。COVID-19の動向およびその感染対策は他の講師の方々が解説されていますので、私はそれも交えながらこの1~2年の感染制御に関するトピックスをお伝えします。